

## 「これからの学びを支える ICT活用教育」

2024年11月28日(木)・29日(金) 14:00～18:00

会場 大阪教育大学 天王寺キャンパス みらい教育共創館

大阪教育大学は、2024年に創基150周年を迎えます。教員養成フラッグシップ大学としての取り組みの一環として、大阪教育大学と日経BPとで、ICT活用教育に関する最新情報を発信する「教育とICT セミナー」を開催します。

【主催】 大阪教育大学、日経BP 教育とICT Online

【対象】 教育委員会関係者・学校関係者の方

【参加形式】 対面形式のみ

【参加費】 無料 ※詳しい講演内容は裏面をご覧ください

## 申込方法

本セミナーのお申し込みは開催日ごとに以下のURLまたはQRコードよりお申し込みください。両日受講される方はお手数ですが各日ごとにお申し込みください。

(本イベントへのお申し込みには、「日経ID」への会員登録(無料)が事前に必要となります。すでに会員の方は、ログイン後、ご登録内容をご確認のうえお申し込みください。未登録の方は、画面の指示にしたがい、登録を完了させてください。)

■11月28日(木)

<https://ers.nikkeibp.co.jp/user/2024z1128eict>



(11月28日申込)

■11月29日(金)

<https://ers.nikkeibp.co.jp/user/2024z1129eict>



(11月29日申込)

## 会場

大阪教育大学 天王寺キャンパス  
みらい教育共創館3階 未来型教室

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88  
電話番号 (06)6775-6611

(問い合わせ先)  
大阪教育大学 みらい教育共創館事務局  
E-Mail : mirai@bur.osaka-kyoiku.ac.jp



# プログラム

11月28日(木)

テーマ:AIの教育活用、教科「情報」、DXハイスクール、プログラミング、教員の働き方改革、日本語学習、VR

講演時間	講演タイトル/講師/講演概要
14:00~14:05	主催者挨拶 鈴木 剛 大阪教育大学 理事・副学長
14:05~14:35	<b>児童生徒の学びに寄り添うICTの活用～ダイバーシティ大阪での実践の可能性</b> 大阪教育大学 水野 治久 大阪教育大学 教授・副学長・みらい教育共創拠点 拠点長 ●学校現場では、児童生徒の様々なニーズに応えようと豊かな教育実践が展開されてきました。現在、学校では、「個別最適な学び」、「発達支持的生徒指導」という新しい視点によって変わりつつあります。この変化を牽引しているのが、教育現場におけるICTの活用です。当日は、水野の学校現場での実践的研究の紹介を通してご出席の皆様と考えていきたいと思ひます。
14:40~15:10	<b>「情報Ⅰ」必修化からの現在地、DXハイスクールからみえる目的地</b> スプリックス 島貴 良多 氏 ●2022年4月から必修化がスタートした高等学校の教科「情報Ⅰ」。必修化から数年が経過した学校現場の実態、文部科学省「DXハイスクール」からみえてくるこれからの情報教育について、「プロ検(プログラミング能力検定)」等を運営する総合教育カンパニー「SPRIX」が説明します。
15:15~15:45	<b>親として、研究者として考えるAIの教育活用:学びの支援と教員の負担軽減</b> 日本HP 勝谷 裕史 氏 エンタープライズ営業統括 ソリューション営業本部 ワークステーション営業部 AI/DS市場開発担当部長 ●公立小学校に通う娘を持つデータサイエンス専攻の大学院生の立場から、AIが学習支援と教員の働き方改革にどう役立つかを考察します。
15:50~16:20	<b>「ダイバーシティ大阪に資する取り組み」のご紹介</b> NTT ExCパートナー 山西 裕介 氏 教育ICT事業部 ビジネス部門 西日本営業担当部長 吉野 和則 氏 DXソリューション部 HCソリューション部門 担当課長 ●「ダイバーシティ大阪に資する取り組み」の一環として、外国にルーツのある子どものためのサバイバル日本語学習教材「アプリでいほんこー がっこうにいこうー」と発達障がい体験VRソリューションをご紹介します。
16:25~16:55	<b>AI時代の人材育成を目指す情報教育 ～全学情報教育授業とICT教育コースの取組から～</b> 大阪教育大学 尾崎 拓郎 大阪教育大学 理数情報教育系 准教授 次世代教育部門 ICT教育コース担当/みらいICT先導センター副センター長 ●GIGAスクール構想の実現や教科「情報」の学びの深化、AIの教育利用の拡大など、ICT教育の世界が大きく変化している。こうした変化を受けて、大阪教育大学では2024年4月より、教員養成フラッグシップ大学構想を象徴とする専攻として次世代教育専攻を新設した。同専攻において最先端のICTを活用できる知識と素養を身に付ける教職コースとしてICT教育コースが新設された。本講演においては、本学がこれまでに取り組んできたICTに関わる環境整備や機器の活用等を踏まえた全学的な実践を土台としつつ、ICT教育コースが目指す教員養成像について、次世代の教員養成の展望を述べる。また、教科「情報」の学びのポイントも併せて紹介する。
17:00~18:00	展示見学・名刺交換会

※講演時間、講演内容は変更になる場合もあります。あらかじめご了承ください。

11月29日(金)

テーマ:AIの教育活用、NEXT GIGA、セキュリティ、校内ネットワーク、教員の働き方改革

講演時間	講演タイトル/講師/講演概要
14:00~14:05	主催者挨拶 片桐 昌直 大阪教育大学 副理事・副学長
14:05~14:35	<b>ChatGPT時代にこそ求められる“対人対話力”と“認知科学の知識” ～非専門家向けの教育として取り組むべきAI・データリテラシー～</b> 大阪教育大学 安松 健 大阪教育大学 特任准教授 株式会社エボルパ Chief Assemblage Officer ●ChatGPTをはじめノーコード・ノンプログラミングの無料ツールの普及は目覚ましく、非エンジニア・非統計専門家でもAI技術を簡易に利用できる時代。文系学生も含めた一般教養としてのAI・データサイエンス教育が求められますが、それは専門教育の簡易版・入門編をすればよいわけではありません。それでは、これからのAI時代に求められるリテラシーとはどのようなものになるのでしょうか。実際の授業やプロジェクト事例を紹介しつつ、生成AI時代に重要なリテラシーを議論していきたいと思ひます。
14:40~15:10	<b>学校ネットワークにおける課題解決と校務DXの実現に向けて</b> ソリトンシステムズ 牧野 歩未 氏 ITセキュリティ事業部 プロダクト&サービス統括本部 パブリックビジネス戦略本部 ●学校ネットワークのセキュリティとDHCPの課題解決策、加速化する校務DXではアクセス制御ネットワーク構成において必要となるIDaaSとセキュアなデータレスクライアントについてお話しします。
15:15~15:45	<b>調整中</b> 日本マイクロソフト 調整中
15:50~16:20	<b>調整中</b> 調整中
16:25~16:55	<b>ICT活用教育の最新事情とポイント — 生成AI、VR、校内ネットワーク、校務DX</b> 日経BP・大阪教育大学 中野 淳 日経BP 技術プロダクトユニット長補佐 大阪教育大学 客員教授 ●生成AIの登場は教育の分野でも大きな変革をもたらしている。講演では、児童・生徒の学びや校務での具体的な生成AIの活用例を報告。さらに、生成AIを学びや校務に活用するための手順や注意点を解説する。また、360度の視点移動ができるVR教材の教育利用が広がっている。VR教材は専用のゴーグルが無くても、1人1台のGIGA端末で利用できる。大阪教育大学での取り組みを例に、VR教材の活用について紹介する。ICT活用教育や教員の働き方改革のポイントとなる、校内ネットワークの整備、校務DXについても、最新情報をお届けする。
17:00~18:00	展示見学・名刺交換会

※講演時間、講演内容は変更になる場合もあります。あらかじめご了承ください。



協賛：日本HP、日本マイクロソフト、NTT ExCパートナー、ソリトンシステムズ、スプリックス (ABC順)